

キャリアデザイン 5 つのポイント



1. 組織の一員としての個人ミッションを定めること。

- ✓ 「何のためにこの組織で働いているか」に対する自分なりの答えをもっていますか？
その答えが、あなたがブレずに働く根幹に。
- ✓ 組織が何を目指しており、自分は組織の一員として何を求められているのかを見つめ直すことも大切。

2. 目指すべき理想像を狭めない。積極的に挑戦すること。

- ✓ あなたの可能性はそんなに狭くない！幅広い理想を持ち、キャリアを進める中で柔軟に修正していこう！
- ✓ 専門性を極めつつ、自分のコアに他の業務の知識・経験を加えることで、あなたの強みは伸びる。
多様な業務経験が、バランスの取れた判断能力を育む。
- ✓ 人事の打診は個々の適性・状況が考慮された結果であり、あなたは求められて配属されている。
チャレンジしてみたら思わぬ適性に気づくことも。積極的に挑戦しよう！
- ✓ キャリアは再解釈が可能。予想だにしていなかった形で過去の経験が役立つ。
- ✓ やりたい仕事については、言葉や姿勢でアピール！家庭の事情等で難しい場合でも、「いつ」、「どの範囲」ならできるかを示すとよい。

3. プライベートの経験もキャリアの一部。仕事との相乗効果を図ること。

- ✓ ライフイベント（出産、育児、介護等）は「キャリアの遅れ・制約」ではなく、「キャリアの一部」。
経験の種類が違うだけであり、併任・出向では得られない特別な経験。
- ✓ 育児でつまずいたときに仕事が息抜きになること、プライベートの充実が仕事のモチベーションにつながることに、プライベートで得た知見・スキルが業務に生きることも。相乗効果を大切に。
- ✓ 仕事は人生を充実させるための手段の一つである。

4. 仕事との付き合い方・やり方を工夫し楽しみながらプロフェッショナルを目指すこと。

- ✓ 「楽をする」のではなく仕事を「楽しくする」ための工夫を意識的に考えよう！
- ✓ 処理能力（エンジンの大きさ）、得意・不得意分野、経験等は人それぞれ。エンジンは小さくとも、その「やり方」次第でアウトプットは大きく変わる。
- ✓ 「この業務は自分が一番詳しい」というプロフェッショナルを目指し、その場その場でベストを尽くそう！

5. 人とのつながりを広げ、よい部分を吸収し、「自分のスタイル」を構築すること。

- ✓ あらゆる属性を超えて、縦・横のつながりを太くすることが、各人・組織を豊かにする。人とのつながりが、困難な状況に陥った際の力にもなる。
- ✓ 様々な人のよい部分を吸収し、自分なりに組み合わせることで、あなたのスタイルをより高次元へ。
- ✓ チーム業務では、自ら率先して取り組み、仕事に自分なりの付加価値を付けた上で、周囲を巻き込もう！

5つのポイントのうちいずれかが、皆様のキャリアデザインのヒントになり、キャリアを豊かにするきっかけになれば幸いです。

特許庁の先輩24名へのインタビューを基に作成。
デザイン経営プロジェクト D&Iチーム

